

全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和4年2月15日発行

第27号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら



シリーズ『すぐに使えるICT』学級活動 ～明善中学校 伊藤先生の授業から～

学級活動(1) 議題「給食準備をよりよくするにはどうすればいいか」

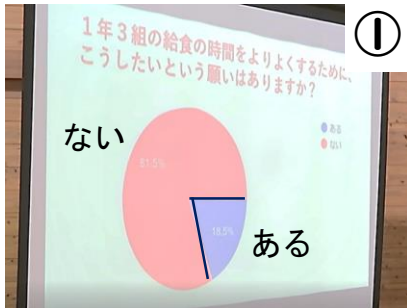
育成を目指す資質・能力

学級の給食準備の課題を見だし、その課題解決のためにポジショニング機能を使って話し合い、多様な意見や考えを生かして合意形成を図る。



資質・能力を育成するためのICT活用のポイント

- ① アンケート機能で、クラスの課題を見いだします。
- ② ポジショニング機能で、少数意見を生かした話し合い活動が展開できます。



①

「ある」を選択した人の意見
 ・(もっと)残飯が減ればよいと思う。
 ・もっと給食の時間をよりよければ、残飯が減ると思うから。
 ・準備を早くして給食を食べる時間をもっとほしい。

↓

議題
 給食準備をよりよくするにはどうすればいいか考えよう。



学級全体の願いの傾向を知る

本時の議題を確認する

グループで改善のためのアイデアを出し合う

ICTを活用するならこの場面で

① 学級全体の願いの傾向を把握する場面で…

アンケート機能を用いて、グラフにまとめます(授業前でも可)。

② 合意形成に向けた話し合いの場面で…

ポジショニング機能を用いて、座標軸上に、自分の考えに近い場所にマークを置きます(思考の見える化)。

マークを置いた結果、少数意見となった人の思いや理由を全体で聞く場をつくります。



全体の傾向から見ての少数意見を聞き、学級全体で考え合う

みんなで決める場面では、アンケート機能を使って投票のような形で単に賛成か反対かを決めるのではなく、意見の背景にある理由を比べたり、反対意見に対する改善策を出し合ったりして、少数意見も大切にしていく力を育てることが学級活動(1)では求められているんだね。

